

科目ナンバー	C7201	要件	保育必修	授業形態	講義	対象学生	I AB II CD 科目等履修生
授業科目	子どもの保健	単位数	4単位	授業担当者	井上 葉子・村上 今日子		
実施期	通年						
<b>【科目の概要】</b>							
保育士資格取得のための専門科目として、子どもの健康を守り育てるために必要な実践的知識を習得することが目的である。前期には、子どもを取り巻く環境を踏まえて子どもの身体発育や生理機能、運動機能、精神機能の発達と保健について学ぶ。後期には、施設における保健活動を知り、子どもの保健や心の問題について適切な対応と予防を学ぶ。							
<b>【この科目を通して獲得を目指す力】</b>							<b>【関連DP】</b>
ア	子どもの心身の発達とその評価方法、及び子どもに多い病気や事故とその対処方法についての基礎的知識を身に付ける。						1-d
イ	子どもの発達や保健活動について様々な角度から考察し、健康・安全教育指導案を考えることができる。						2-d
ウ	保育者として、子どもの健康の保持増進のために学習が必要であることを自覚し、積極的に授業に参加するとともに、保育者として自己の健康管理にも気を配ることができる。						1-c
<b>【授業の内容】</b>				<b>【実施日】</b>	<b>【授業時間外学習の内容】</b>		
1	オリエンテーション	子どもの保健の概要	子どもとは	月 日	シラバスの熟読		
2	子どもの保健の意義			月 日	保健に関する新聞記事を探す		
3	子どもの保健の記事ワーク			月 日	ワークのまとめ（時間）		
4	子どもの健康と小児保健活動			月 日	子どもの保健の課題の振り返り		
5	子どもの健康と小児保健活動（広場見学）			月 日	[気になるシート]の作成（時間）		
6	子どもの健康と小児保健活動（健やか親子21）			月 日	わが街の健やか親子21調べ（時間）		
7	発育と発達			月 日	発育の原則のまとめ（時間）		
8	身体発育の正常と異常			月 日	自分の身体発育評価（時間）		
9	生理機能の発達			月 日	発達シートの整理（時間）		
10	運動機能の発達			月 日			
11	精神機能の発達			月 日			
12	子どもの栄養			月 日	食事行動上の留意点の整理（時間）		
13	子どもの食生活 課題（子どもの生活に関する指導）説明			月 日	左記課題事前学習（時間）		
14	課題（子どもの生活に関する指導）実施（獲得を目指す力の確認）			月 日	指導レポート作成（時間）		
15	前期まとめ（筆記試験）			月 日	前期復習（時間）		
16	後期オリエンテーション 前期振り返り			月 日	筆記試験振り返り（時間）		
17	子どもに多い症状 歯の健康			月 日	歯の健康と指導の整理（時間）		
18	子どもに多い症状と健康状態の評価			月 日	子どもの症状の特徴整理（時間）		
19	子どもによく見られる病気			月 日	子どもの病気の特徴整理（時間）		
20	病気の予防と対処 予防接種			月 日	主な感染症の整理（時間）		
21	子どもの心の健康と課題			月 日	子どもの心の健康の課題整理（時間）		
22	子どもを取り巻く生活環境と影響			月 日	子どもの心に影響する因子整理（時間）		
23	子どもの事故の特徴と予防			月 日	子どもの事故の特徴整理（時間）		
24	事故の対応と応急手当			月 日	子どもの事故予防と対処の整理（時間）		
25	保育施設での衛生管理・安全管理			月 日	保育施設での事故防止対策整理（時間）		
26	ヒヤリハット作成			月 日	ヒヤリハットのまとめ（時間）		
27	子どもの健康・安全を守る取り組み グループ学習（安全教育・保育環境マップ）説明			月 日	グループ学習		
28	母子保健対策と保育			月 日			
29	グループワーク 学習まとめ			月 日			
30	グループワーク学習発表			月 日	後期復習（時間）		
31	筆記試験			月 日			
<b>【教科書・テキスト】</b>				<b>【成績評価の方法】</b>			
保育者養成シリーズ「子どもの保健Ⅰ」 加部一彦編 一藝社				終講試験60% 課題レポート・平常点等40%			
<b>【参考書・教材】</b>							
「心とからだを育む子どもの保健Ⅰ」 高内正子編著 保育出版社							
<b>【履修要件及び履修上の注意事項】</b>							
前期は5回、後期は6回以上欠席すると、各期試験の受験ができません。通年で11回以上の欠席があると失格です。前期の追再試験、後期の追試験は実施しません。レポートも含めた通年成績で再試験を実施します。毎回授業の最後に、リフレクションミニレポートがあり、その評価はレポート点に入れます。							
<b>【履修上の遵守事項】</b>							
<b>【連絡先・オフィスアワー】</b>							
連絡先：				オフィスアワー：			

＜チェックシート＞					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア①	子どもの成長発達のプロセスと評価方法	子どもの身体の発育、生理機能や精神機能の発達のプロセスや原則を述べることができる。	子どもの発育・発達の評価方法（発育曲線・指数・デンバーⅡなど）を述べることができる。	子どもを取り巻く環境を踏まえながら、子どもの発育・発達の評価ができる。	
ア②	子どもの主な病気の予防、事故防止対策と応急手当、安全管理等	子どもの主な病気や症状、不慮の事故について発達段階別の特徴を述べることができる。	流行しやすい感染症の予防と予防接種、食物アレルギーのケア、事故防止対策と応急手当を述べることができる。	保育の現場における衛生管理、事故防止対策などの安全管理、又は安全教育を述べることができる。	
イ①	子どもをより健康に導くための生活指導案作成	施設における健康保育・安全教育の目標を述べることができる。	助言の下、事例の健康保育の目標が述べるができる。	助言の下、事例の健康課題を達成させるための生活指導案が作成できる。	
イ②	子どもの健康・安全を守る取り組み（安全教育または、保育環境マップの作成）	施設における保健活動計画の意義（必要性、目標）を述べるができる。	助言の下、保健活動の意義を踏まえた安全教育もしくは、保育環境マップを作成できる。	助言の下、つどいの広場の特徴を踏まえた安全教育又は、保育環境マップを作成できる。	
ウ①	リフレクションシートを活用した学びの発展	リフレクションシートに学んだことを記入している。	リフレクションシートに学んだことを整理して記入している。	リフレクションシートに、質問や疑問点なども含めて学びを整理して記入している。	
ウ②	与えられた課題への積極的な取組	与えられた課題を、期限を守り提出する。	与えられた課題を、教科書や学んだことから確実に書いている。	与えられた課題を、文献を活用し、発展させようとするができる。	
ウ③	保育者としての自己の健康管理	子どもの健康を守るためには、保育者も心身ともに健康でなければならないことを述べるができる。	自己の健康管理の課題を知り、遅刻・欠席しないよう努力することができる。	自己の健康管理ができ、遅刻・欠席しない。	
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等					